

令和4年度 第1回岡崎市入札監視委員会 定例会議 議事録

1 会議の日時 令和4年5月13日(金) 午後2時00分～午後3時40分

2 会議の場所 岡崎市役所 西庁舎7階 702号室

3 出席委員 委員長 宇野 勇治(大学教授)
(委員数3) 委員 櫻井 敬子(弁護士)
委員 村林 聖子(大学非常勤講師)

4 出席した事務局職員

戸谷総務部長

出契約課長

黒柳主幹、井澤主任主査、岩井主任主査、

水越主任主査、佐藤主査

5 概 要

(1) 総務部長あいさつ

(2) 報告事項

・入札制度の変更点(令和4年4月～)

・入札及び契約手続の運用状況(対象期間:令和3年10月～12月及び令和4年1月～3月)

・入札参加停止の状況(対象期間:令和3年10月～12月及び令和4年1月～3月)

(3) 抽出対象工事等の審議

対象期間:令和3年10月～12月

・一般競争入札 5件

・指名競争入札 2件

・随意契約 1件

対象期間:令和4年1月～3月

・一般競争入札 4件

・指名競争入札 2件

(4) その他

・次回の定例会議について

次回の定例会議の日程は令和4年7月26日(火)14時からとなった。

<主な質疑>

質 問・意 見	回 答
<p>【抽出案件の審議】</p> <p><u>1 下水道管渠改築更新実施設計業務（岡崎市康生町ほか5箇町地内）</u></p> <p>○落札率が低い要因は何か。</p> <p><u>2 岡崎市下水道ストックマネジメント基本方針検討業務（岡崎市公共下水道区域）</u></p> <p>○落札率が低い要因は何か。</p>	<p>○本業務は、本市が管理する公共下水道の老朽化対策として策定された「岡崎市下水道管渠ストックマネジメント計画」に基づき建設後50年を経過したものを順次更新するための実施設計で、小口径のφ800mm未満の管渠約2,800mが対象となります。</p> <p>コンサルタント業務の発注基準は、予定価格2,000万円以上は一般競争入札、500万円以上2,000万円未満は一般競争入札または指名競争入札を基本としており、2,000万円以上でも入札参加可能業者に市内業者が含まれる場合は、市内優先調達の観点から指名競争入札としております。</p> <p>この業務は予定価格2,000万円未満であるものの、難易度も標準的であることから一般競争入札で発注しました。</p> <p>その結果、受注意欲の高い多くの事業者が参加したことで、落札率も低くなったと推測されます。</p> <p>○本業務は、H29年度に策定した計画期間5年間（H30～R4）の岡崎市下水道ストックマネジメント計画の見直しと更新策定のために必要な基本方針の検討となります。</p> <p>今回、予定価格が2,000万円未満のため、指名競争入札としています。</p> <p>下水道事業におけるストックマネジメントとは、持続可能な下水道事業の実施を図るため、長期的な施設の状態を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理することです。</p> <p>ストックマネジメントに係る業務は今後も続くため、受注意欲の高い事業者が多く、その結果落札率が低くなったと推測されま</p>

3 岡崎市立羽根小学校ほか4校屋内運動場便所改修工事(岡崎市羽根町ほか4箇町地内)

4 岡崎市立緑丘小学校ほか3校屋内運動場便所改修工事(岡崎市美合町ほか3箇町地内)

5 岡崎市立緑丘小学校ほか8校屋内運動場便所改修工事(岡崎市美合町ほか8箇町地内)

○不調になった要因は何か。また、落札率が高い要因は何か。

6 給与所得等に係る市民税・県民税特別徴収税額通知書等印刷印字封入封緘業務(岡崎市指定場所)

○落札率が高い要因は何か。

7 下水道管渠築造工事(岡崎市八帖北町ほか5箇町地内)

○契約金額が高い要因は何か。また分割発注でなく1本で発注した理由は何か。

す。

○本工事(5番)は各小学校の屋内運動場に付属している便所の和風便器を洋風便器に改修する工事です。校内での作業となるため、児童及び学校関係者の往来も多いことから特に安全管理が求められる現場です。また、施工箇所が市内9校と点在しており、手間も多くかかります。そのため入札参加申込みがなく、入札不調となりました。

その後、施工箇所を5校と4校に分け、再度、入札にはかりました(3番と4番)。

2分割したものの先ほどと同様な理由により、落札率が高くなったと思われます。両案件とも1者のみ入札に参加し、サンモク工業及び大黒屋建設が落札率100%で落札しました。

○本業務は、給与所得等に係る市民税・県民税特別徴収税額通知書等の印刷、印字、封入、封緘、発送までを行うものです。

業務費のうち、約7割が人件費で、その高騰が続いていることから、落札率が高くなったと推測されます。

○本工事は、八帖雨水ポンプ場への導水路として令和3年度から令和6年度まで3年に渡り、八帖北幹線を整備する工事です。シー

○総合評価の評価項目を具体的に教えてほしい。

8 公園施設整備工事(岡崎市唐沢町ほか1箇町地内)

○随意契約とした理由は何か。

9 牧御堂郷中排水路ほか5排水路改修工事(雨水浸透型)(岡崎市牧御堂町ほか4箇町地内)

○落札率が高い理由は何か。

ルド工法にて直径 3250 ミリメートル、延長 1008.8 メートルを施工するため契約金額が高くなりました。

2 者が入札に参加しましたが、1 者が予定価格超過により無効となりました。その結果、安藤ハザマ・朝日工業・小原建設特定建設工事共同企業体が落札しました。

長いシールド管を築造する必要があり、シールド管の工区を途中で分けて他の業者に分割発注するのは合理的でないため、1 本で発注しました。

○課題 1 はシールドの施工管理に関する技術提案で、課題 2 は導水路及び鉄道、道路橋の安全な施工に関する技術提案です。それぞれ 3 項目について 2 つまで提案することができます。その提案を各評価者が 0 点、1 点、2 点と採点します。したがって、それぞれの課題の最高点は 3 項目×2 提案×2 点の 12 点となります。

○本工事は、桜城橋橋上広場の休憩所を設置する工事です。こちらの施設は令和元年度に募集した岡崎市 QURUWA プロジェクトに関連するものであり、認定計画提出者の工事を担う一員である当該業者と随意契約をしております。

なお、桜城橋木装化工事の施工も手掛けており、木床版の処理方法など本工事において重要となる部分に対する造詣が深く、既設床版部と建築物基礎に対する確な管理が行えます。

○本工事は、排水路横の土の部分にコンクリート又は砕石舗装を行う工事です。既設排水路横の施工となるため、作業スペースが限られています。また施工箇所も 6 排水路と点在

10 あおい公園ほか214公園遊具定期等
点検業務（岡崎市全域）

○落札率が高い理由は何か。

しており、手間も多くかかるため、落札率が高くなったと思われます。

1者のみ入札に参加し、村松建設が落札率100%で落札しました。

○本業務は、市内の都市公園にある遊具について、定期点検1回とその定期点検結果を踏まえた日常点検1回を行うものです。

業務費のうち、約8割が人件費で、その高騰が続いていることから、落札率が高くなったと推測されます。

11 道路整備工事（岡崎市上六名三丁目地内
市道南部5号線）

○参加者数が多くなった要因は何か。

○本工事は地元からの要望により老朽化した道路側溝の布設替え及び舗装の打替えを行う工事です。13者の参加申し込みがあり、1者辞退、1者予定価格超過により無効、3者最低制限価格を下回り失格となっています。一般的な道路整備工事のため難易度も低く、債務負担行為で発注された工事であるため、実際の工事着手は手持ち工事が無くなる4月以降の工事着手となり、仕事を確保するため参加者が多くなったと思われます。

2者によるくじの結果、千本建設が落札しました。

12 市道岡崎阿知和スマートインター線
道路築造工事その1（岡崎市西阿知和町地内）

○契約金額が高い要因は何か。

○本工事は、東名高速道路に設置予定のスマートインターチェンジへのアクセス道路を築造する工事です。新たに道路を開設するため、30,900m³の掘削を伴う、大規模な造成工事となり、道路側溝も648m設置するため、契約金額が高くなりました。

8者が入札に参加し、評価点では6番手ですが、入札額が1番手の松尾建設が落札しました。

13 岩津成瀬城跡・若一王子神社移設発掘調

査業務（岡崎市岩津町地内）

○契約金額が高い要因は何か。

○本業務は、岩津町地内の道路整備予定地が埋蔵文化財包蔵地「岩津成瀬城跡・若一王子（にやくいちおうじ）神社遺跡」に該当するため、事前に発掘調査を行い、記録を保存するものです。

調査対象面積が2,020㎡と広く、既設のフェンスや舗装版の撤去もあり、設計金額が高額となっています。

また、発掘調査、測量作業、報告書作成など約6割が人件費で構成される業務のため、人件費の高騰や人手不足により、落札率も高くなつたと推測されます。

14 譲渡公営住宅柱荘解体工事（岡崎市柱曙町地内）

○不調になった要因は何か。

○本工事は、住宅及び周辺工作物を解体し、当該敷地を更地とする工事です。対象施設は、平屋1戸建ての住宅であり、難易度も低く、敷地内での作業となるため比較的やり易い現場となります。5者が入札に参加しましたが、全者、最低制限価格を下回り、失格となったため、不調となりました。

その後、令和4年度4月には当該敷地を土地所有者へ返還する必要があることから、再入札に付す時間的余裕がないため、最も低価格の入札額を提示した「株式会社金井組」を相手方とし、随意契約をしております。